

## Vasohibin-2を制御する低分子化合物

### 正常組織にない・がんで亢進発現するVASH2の阻害剤

#### 概要

血管新生はがん、糖尿病性腎症、心不全、動脈硬化症、神経系疾患などの発症や進行に関係することが知られている。発明者らは血管内皮細胞が産生する血管新生抑制因子Vasohibin1 (VASH1) と、そのホモログである血管新生促進因子Vasohibin2 (VASH2)、更にはそれらの安定性を高める低分子バソヒビン結合タンパク質Small Vasohibin Binding Protein (SVBP) を発見し、VASH1の作用増強あるいはVASH2の阻害に基づく新たな治療法を開発している（「関連発明」をご参照ください）。

本発明は、低分子化合物ライブラリーからスクリーニングし、VASH1とSVBPの結合を阻害せず、VASH2とSVBPの結合を選択的に阻害する低分子阻害剤を得られた。

#### 応用例

- 膵臓がんなどのがんの低分子治療薬
- VASH2をターゲットとする治療薬

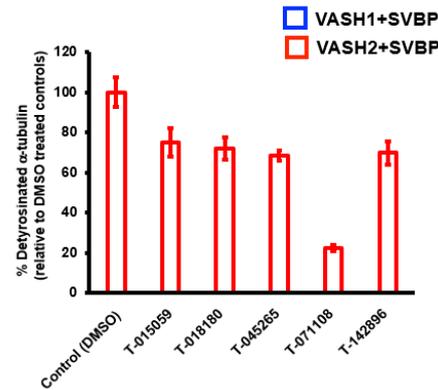
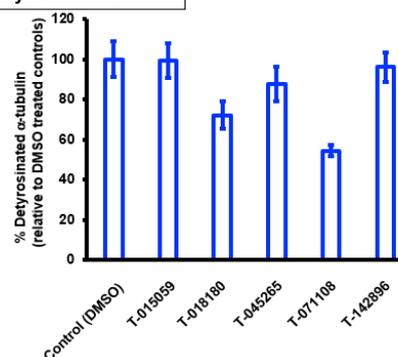
#### 知的財産データ

知財関連番号 : PCT/JP2024/013273  
発明者 : 佐藤 靖史、鈴木 康弘  
整理番号 : T23-047

本件特許出願は未公開のため、5つ低分子化合物の構造式は開示していない。秘密保持契約を締結した上で開示可能なので、お気軽にご連絡ください。

#### VASH1とVASH2に対する阻害効果の比較

Detyrosination levels



5つ低分子化合物はVASH1とSVBPの結合と比べ、VASH2とSVBPの結合のほうを阻害していると分かった。

#### 関連発明

- [1] 特許第6300373号（整理番号T12-072）
- [2] 特許第7202662号（整理番号T18-447）

#### お問い合わせ

株式会社東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049

お問い合わせフォームは[こちら](#)